

# 普及情報

## 農作業無料職業紹介所設立までの取り組み

### 1 活動の成果

1999年4月1日、J A神戸市西農業無料職業紹介所運営協議会設立総会が会員34名で行われ、規約・役員・活動計画等を承認し、無料職業紹介所事業が始動した。11月末現在で、会員数40名、求人票提出20名、求職票提出176名、雇用実績：雇用者20名・被雇用者58名、うち以前からの継続雇用者は31名である。

運営協議会は、会員代表（雇用農家）、神戸市・J A神戸市西・神戸普及センター等関係機関で組織。主な活動内容は、①農作業紹介事業、②労災事務引受、③雇用者研修会、④被雇用者研修会、⑤経営分析実施の斡旋、等である。

### 2 活動経過と内容

「最近、親の体力が落ちたし、嫁さんは子育てや。ハウスの管理がしんどくなった。ようけハウスはあるし、どないしよう？」と西神戸農業経営者協議会会員（28歳～40歳の農業青年組織）の声。家族経営を主体とする農業経営では労働力に限界があり、規模拡大等の大きな壁であった。そこで、普及センターでは「家族主体農業からの脱却」を課題とした経営者協議会の活動を支援した。

紹介所設立に向けて雇用推進協議会（経営者協議会役員、市・J A・普及センター関係職員）を組織し、先進事例の研究や今後のスケジュール等を協議した。

#### (1) 情報収集と優良事例調査研修

普及センターは、全国普及情報から相模原市等の事例を雇用推進協議会で紹介し、これらを参考に運営主体と事務局の調整や協議会の運営方法などの検討に多くの時間を要し、普及センターで朝を迎えることもあった。

先進事例を検討し、知識を得た後、先進地視察研修を2ヵ所実施。研修では、経営者意識を学ぶとともに、雇用推進協議会メンバーのやる気と事業のす

すめ方が確認でき、活動推進の原動力となった。

#### (2) アンケート調査と集計

「農作業を手伝ってくれる人がいるのか？」潜在的労働力の把握が次の課題である。都市住民約1,200名にアンケート調査を実施した結果、パートとして農作業をしたい」と答えた人が140人、新たに雇用労働を導入したい農家も44戸もあった。

#### (3) 研修会の開催

雇用者の責任など経営者としての意識づけを図るため、J A神戸市西生産部会員、西神戸経営者協議会会員、西神戸青年クラブ員を対象に研修会を開催した。

雇用労働を導入した時、気を使うのは女性。そこで、「女性のための農業勉強会」も開催。研修内容や講師選定も普及センターの役割であった。

### 3 おわりに

農作業無料職業紹介所が始動して1年。雇用労働導入農家の優良事例を作る事が最大の課題である。

彼らの事例が波及効果を生み、産地の維持・発展だけでなく、後継者確保にも繋がると確信する。

三崎 恒敏（中央農技・普及指導室）  
（旧 神戸普及センター）



赤なしの摘果作業に励むパート労働者

問い合わせ先：J A兵庫六甲神戸西営農支援センター  
（平成12年4月改称）

TEL (078) 961-1277

ひょうごの農業技術 No.109

平成12年5月1日（隔月刊）

1部250円（申込先・県立中央農業技術センター）

兵庫県立中央農業技術センター（0790）47-1117

兵庫県立北部農業技術センター（0796）74-1230

兵庫県立淡路農業技術センター（0799）42-4880